

全国初 発展版「まるごとまちごとハザードマップ」

逃げ遅れゼロのまち

～想定最大規模の浸水位をみんなで線状に明示～【逃げ遅れゼロのまち-第1弾-】



○淀川河川事務所では市町等と水防災意識社会の再構築に取り組んでおり、生活空間である“まちなか”に想定される浸水位の看板を設置する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施を推進しています。

○これまでの実施は、浸水位を電柱など点在する物件毎に掲示していましたが、ご覧になる方の自宅での水位は明らかでないため、浸水リスクを「他人事」から「我が事」へ、より現実味を持って頂くための工夫が必要でした。

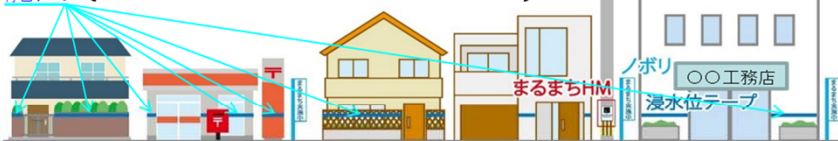
○このため、従来の看板による点状に想定浸水位を掲示する手法を発展させ、テープにより線状に各戸で明示する試行の取組みを、地域の皆さまや学生防災ボランティアと門真市城垣町の住宅街で実施しました。(設置したテープは一週間存置のうえ撤去の予定)

○見えない想定浸水位を、自ら「見える化」し実感して頂くことで、更なる減災意識の向上を目指しています。

これまでの「まるごとまちごとハザードマップ」から 掲示方法を点から線へ発展させます!!

想定浸水位を示す「青色テープ」を、自宅や周辺の建物(対象は予め許可済のもの)に、地域の皆さまと一緒に線状に貼るフィールドワークを試行して実施します。

※テープ素材は、貼って剥がせるマスキングテープ状
※テープ貼付は、一週間は存置し30日に撤去予定



○ご自身で自宅の外壁や塀に連続して青色テープを貼ることで、見えない想定浸水位を見える化し、想定される浸水位(水害)を我ごととして実感して頂きます。

○青色テープを地域の皆さまがご近所さんとの共同作業により貼ることで、地域の絆が高まります。
⇒減災意識が向上し、地域防災力が高まることを目指します。



【参加者から頂いたコメントの一例】

- ・実際にテープを見ると、聞いたり思ってたよりも浸水位が高くてびっくりした。
- ・少し冠水する程度だと思ってたけれど、遠く離れた淀川からこんなに氾濫がくるとは思ってもみなかった。



【開催概要】

開催日時：平成30年9月23日(日) 10:00～12:00
開催場所：門真市立北巣本小学校 及び 城垣町内周辺
参加者：北巣本校区自治連合会の皆さま他(約140名)
報道実績：テレビ報道(3番組にて放映)

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課

〒573-1191枚方市新町2-2-10
TEL 072-843-2861

